



こんにちわ、リスさんクラブです

— 幼児と母親の交通安全クラブ — その4

— 幼児の事故は、どのような場所で起こりやすいですか。

幼児の事故は、自宅付近100m以内の所で約6割、さらに500m以内になると約8割にも達しています。

— 事故の原因で多いものは

これらの原因を見ると、「飛び出し」が約4割を占め、次に「車の直前、直後の横断」です。

このように幼児は、一つのものに

夢中になると他のものが目に入らないという、幼児の特性が原因となっています。

— ドライバーのみなさんに気をつけていただくことは

自分の家には子どもがいないからとか、自分の車が止まらなくても他の車が止まるだろう……という気持は捨ててください。

特に、せまい道路での運転には、



子どもがいつ飛び出してくるかわかりませんので、十分注意してください。

グループ訪問

16

一汗かいてさわやかに

元吉原婦人バドミントンクラブ

「イチ、ニ、サン、シ」と準備体操が午前11時にはじまる。

子供の頃、羽根つきをしたことのあるおかあさんたちも、なかなか思うようにいかないらしい。

あっちへ行ったり、こっちへ来たり大変だ。

こんな練習の間に会員で唯一のバドミントン経験者、吉見多美子さん(37歳)に聞いてみた。

■練習は 週1回午前11時から午後2時まで、練習はあくまで楽しい雰囲気で行いたい。会員からはもっと

回数をふやしたいという声があるんです。

■目標は 市の婦人バドミントン大会で優勝したいですね。

こんな会話をしているうちに基本練習を終ったみなさんに聞いてみた。

■うまくなりましたか バドミントンの経験がない人が集まって始めたわりには何とか打つことができるようになりましたと加賀美さん(37歳)



うまくなるというより一週間が待ち遠しいし、汗をかいたあとのさわやかさでストレス解消には一番と萩原さん(43歳)。

2時間の練習も和気あいあいのうちに終り楽しい雰囲気でした。



ゴミの分別を しっかりと

【こえ】 ゴミの分別ですが、可燃物と不燃物の収積所への出しかたが

非常にあいまいだと常々思っていました。

主婦の中には、プラスチックトレイなどは疑いもせず、可燃物に入れている人が多いことを知り驚いています。

機会あるごとにPRしたと思います。(岩松 Sさん)

【こたえ】 いま1日に家庭から出るゴミは、市内で約150tです。

燃えるゴミは、週2回、燃えないゴミは、週1回収集しています。

ご指摘の可燃物と不燃物の分別につきましては、機会あるごとにPRしているつもりですが、まだ徹底していないのが現状です。

区分は、次のとおりですのでご協力をお願いいたします。

- ・燃えるものとは＝紙くず、木くず、繊維くず、野菜くず、残飯など。
- ・燃えないものとは＝鉄類、ビン類、カン類、プラスチック類、ゴム類、塩ビ類、発泡スチロール類など。

(市清掃管理課)